



4年生 学級会の授業

昨日21日(月)は、4年2組で学級活動の授業がありました。今回の授業は、「『4の2イエロー集会(ガシャポンランド)』の内容を考えよう」という議題でした。工作クラブで手作りの「段ボールガシャポン」を作ったことのある子供たちは、以前から「みんなて『ガシャポン』をしたい」という思いを持っていて、昨日、「ガシャポン集会」に向けた、話し合いに臨みました。

今回は、学級目標の「みんなの力を合わせて」に近づくための話し合い活動を行いました。提案理由には、「『ガシャポンランド』の内容を決めていく中で、みんなの協力する姿が見られるようになり、学級目標の「みんなの力を合わせて」にもっと近づけると思っています」という話し合いの理由が示されました。



スムーズな話し合いを進行する司会グループ

友達の意見を傾聴する姿

今回の授業に臨むにあたり、司会グループの子供たちが、「ガシャポン」で使う「カプセル」の中身は何にするかを、事前にたくさんのアイデアの中から原案を絞り込むところからはじめました。司会グループが「みんなの力を合わせる」ことがカプセルを開けたときにイメージできる物を前提とし、お金がかからない物、カプセルに入る物なども考慮しながら、「心のパズル『協力』のピース」「紙粘土の帯西イエロー」「だるまんのお守り(4年2組のキャラクター)」「おみくじ」「だるまん・帯西イエローコラボシール」「帯西イエローのぬり絵」「これまでの学級の協力エピソード」「黄色の折り鶴」と決め、そこから何がいいかを比べ合う場面から授業は始まりました。

子供たちは「『おみくじ』がいいと思います。理由は『おみくじ』は、『協力したら運勢アップ』など書いてあって、開くとわくわく感があるからです。」「『紙粘土の帯西イエロー』がいいと思います。家に置いておいて眺めると、協力を思い出せるからです。」など「みんなの力を合わせて」をイメージしながら、意見を比べ合うことができました。また、「『おみくじ』の意見を聞いて、ぼくもいいなあと思いました。わけは、大吉・中吉・小吉など種類があって、嬉しさがあるからです。」「私も〇〇さんの意見を聞いて、『協力エピソード』は、その場面を思い出して、あのときはこうだったなあと思いたせるからいいと思いました。」など、友達の意見を聞いて、そのよさに気づき、自分の考えを変える意見も出ていました。このように、「みんなの力を合わせて」という、提案理由を拠り所として友達の意見と比べ合う場面をたくさんみることができました。そして、折り合いをつけながら話し合っただけで決まった集会の内容は「だるまんのお守り」「おみくじ」「コラボシール」「協力エピソード」の4つでした。そして、ガシャポンを回す回数は1人2回までなど、決まりました。さらに、役割や工夫を話し合う場面では、「音楽を流す」「『大吉』などが当たったときに『おめでとう』と鳴らすハンドベル」「カプセル回収箱」など子供たちの柔軟な発想に驚かされました。

授業を通して、子供たちや担任が互いに意見を尊重し合い、受容的な雰囲気によって、子供たちの活躍の出番と居場所づくりに繋がっていることが実感できました。

本校は子供たちの合意形成による話し合い活動を大切にしています。今回の話し合いで決まった「ガシャポン集会」は、4年2組の子供たちもみんなて役割を分担して準備して実践していくことでしょう。そして、学級目標の「みんなの力を合わせて」姿に近づいていくと思います。